



2007/1/5

編集・発行：アド・イタリア

politica

政治：1年間の歩み

総選挙（2006年4月9-10日）：イタリアを二分した総選挙は、プローディ氏率いる中道左派連合Unioneが僅差で勝利。劣勢だった上院では、最後に開票された海外居住者票が政権交代への「信任票」となって逆転勝利に導き、下院と上院で異なる与党が生まれるという事態は避けられた。

ナポリターノ大統領（5月15日）：チャンピ大統領の後継として、旧共産党の民主化を推進し、内相や下院議長を務めた政治家、Giorgio Napolitano氏が就任。元共産党員が大統領になるのは初めてのことである。

プローディ内閣発足（5月17日）：新大統領から首相に指名され、組閣の要請を受けたプローディ氏は、連合内の各党首を中心に据えた内閣を樹立。共産党再建派のリーダー、ベルティノッティ氏も下院議長に任命された。首相はイタリア人すべてのUnione（統一、団結）をめざす政府でありたいとしており、与党各党の異なる意見をまとめながら、景気回復や財政再建に取り組んでいくことになる。

ナッシリアからの帰還：兵士33名、民間人2名の犠牲者を出したイラク派兵から3年半を経た12月2日、警察署や診療施設の引き渡しのために残っていた数十名のイタリア兵が帰国した。ナッシリア一帯での不発弾撤去中には、アメリカ軍がファルージャ攻略にも使用した白燐爆弾を発見し、爆破処理にあたった。



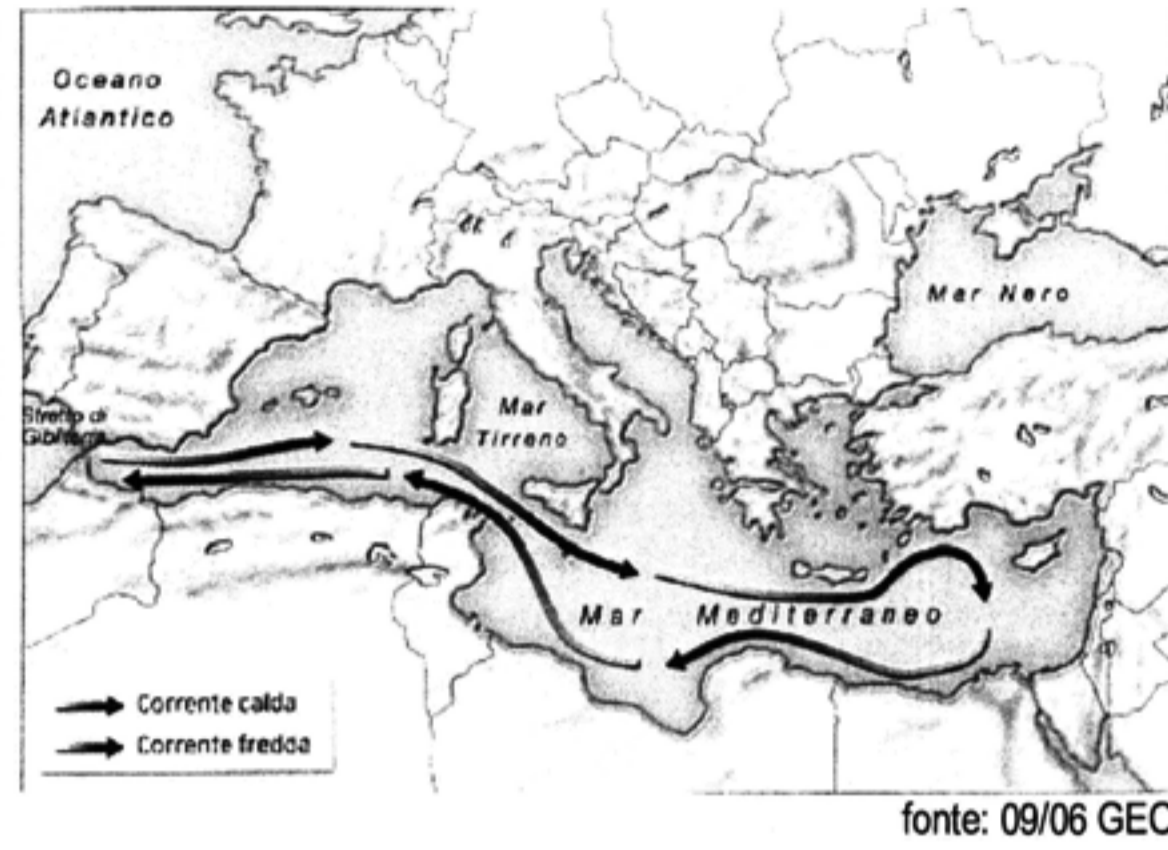
intelligenza verde
グリーン・インテリジェンス

「ある日、居間に置かれたゴムの木が自我に目覚めたり、近くの樁に文句をつけたりしても、驚くにはあたりません」と、2006年3月、セスト・フィレンティーノに開設された国際神経生物学研究所を指揮するStefano Mancuso教授は語る。

「植物も動物と同じように、生きのびるための問題をかかえています。枝の先端のシナプス伝達を行う神経細胞が、昆虫やヒトの頭脳と同じように働き、生きる糧を求め、自分を守ろうとします。そして、縄張りを荒すものには反撃を試みるのです」。

さらに、種類の異なる植物が近づくと拒否反応をおこし、同種属の植物とは協力しあうという。たとえば、ある植物は病虫害にかかされると、すぐに近くの仲間たちに警報を發し、それを受けた仲間は攻撃に備える。トマトなどは特殊な物質をだして食べられないように実を固くして自衛し、さらに利口な植物は病原菌がつくと、その天敵を呼び寄せ、双方を自滅させる。植物の神秘的な世界を探るこの研究所では、現在、ブドウやトウモロコシの生態を観察中である。

società



地中海にも黒潮と親潮がある！？

その昔は湖だったといわれる地中海。大西洋からジブラルタル海峡を通過して毎秒100万m³で流入する海水は、温められ、蒸発しながら東に進み、キプロス島の南で高塩分・高比重のために海底にもぐり込む。そこで冷やされた海流は寒流に変わり、アフリカ北部に乾燥した気候をもたらしながら、狭い海峡の下層を流れて、再び大西洋に戻ってゆく。このような海水循環はイタリアを囲むアドリア海やティレニア海の海流をも取り込み、数十年をかけて地中海を1周する。

専門家たちがベルトコンベアと呼ぶこの海流にも最近異変がみられ、リグリア海、コルシカ島やマヨルカ島近辺、アルジェリア・プロヴァンス海域などで水温と塩分濃度が上昇し、熱帯魚が訪れるほどだという。これを発見したのは、海洋環境研究センターのスタッフたち。18世紀の城壁を改築した施設に最先端の機材を取り揃え、入江に停泊する二艘の研究船で地中海を巡って、気象や大気汚染が海の環境や生態系に与える影響を調査している。



Siena Journal

città migliori
住みやすい町

- 1. シエナ
- 2. トリエステ
- 3. ボルツァーノ

Il Sole 24 Ore紙は毎年、イタリアの全103地域を、豊かさ、事業・職場、行政・環境・衛生、犯罪、人口統計・学業、文化・レジャーなどの面から採点し、「住みやすさ」の順位を発表している。

州としては、3地域（シエナ1位、フィレンツェ8位、グロッセート10位）が格付けされたトスカナ州がトップ。2地域がランク入りしたトレンティーノ・アルト・アディジェ州、エミリア・ロマーニャ州がそれにつづく。

ミラノは、生産性、預金高、年金などをパラメータとする「豊かさ」でトップだったが、住宅1m²あたりの費用では102位となり、総合順位を6位に下げた。

economia

1ユーロ/158.63円 (1/4)

ブルネッロ、世界のワインの頂点に

偉大なワインを作るには、「小さく」たっかまわらない。モンタルチーノの小さなワイナリーの経営者ジャコモ・ネーリがそのことを世界に証明してみせた。

権威あるアメリカのワイン誌『ワイン・スペクテーター』が年末に発表する恒例の「トップ100」。その頂点に立つ世界最高のワインとして、カサノヴァ・ディ・ネーリ社のブルネッロ「テヌータ・ヌオーヴァ 2001」が選ばれた。この知らせに誰よりも驚いたのは、従業員わずか7名の小さな醸造会社でこのワインを作りあげたジャコモ・ネーリ本人だった。

「この会社は父から引き継いだものですが、父からは、謙虚さ、忍耐力、どんな犠牲もいとわない献身の心も授かりました。そして、比類ないブドウを生み出す比類ないこの土地でワイン作りができること、その幸運が今回の栄誉につながったのだと思います。私たちは独自に改良した特別な品種のサンジョヴェーゼを発酵タンクで発酵させた後、6ヘクトリットル入りの樽からさらにそれよりも小さな樽へと移し替え、最後に瓶内熟成で仕上げます」。

カサノヴァ・ディ・ネーリ社のワインの生産量は年間約19万本。そのうち5万本が「テヌータ・ヌオーヴァ」だが、残りもブルネッロとロッソ・ディ・モンタルチーノで、全体の65%が輸出される。

ヒマワリ・エネルギー計画、発進へ

温室効果から地球を守る取り組みの最前線に、トスカナ州の風景を黄色く彩るヒマワリ畑も加わった。現在、イタリアでは、京都議定書で提示された温室効果ガスの削減目標6.5%の達成どころか、反対に約13%の増加となっているのが現状である。



そこでトスカナ州政府では、「よりクリーンな環境のための植物油プロジェクト」、(通称「Voice」)を発足させた。340万ユーロを投じて実施されるこのプロジェクトは、特別に品種改良されたヒマワリを原料として、バイオディーゼル燃料を製造することをめざす。

菜種と同様、ヒマワリの種もまた、「メチルエステル化」の工程を通じて、発電用のタービンモーターや、ディーゼルエンジン用の燃料を製造することができる。

しかも、従来のディーゼル燃料よりも二酸化炭素の排出量を約50%削減することが可能となり、硫酸化物や粒子状物質の排出も大幅に抑制できるなど、そのメリットは大きい。また、イタリア国内の生産農家が製造工程に関わることで燃料生産サイクルを短縮することができることも、重要な環境保護対策となる。今後は、マレーシアなどの国々でヤシ油から作られる安価なバイオ燃料との競争にどう打ち勝つかが課題となるだろう。

ジョットの壁画、新発見か？



トスカーナ州アレツォ県サンセポルクロ。サッセッタの両面祭壇画『聖痕を受けるアッジの聖フランチェスコ』が置かれていた場所として知られるこの小さな村の聖フランチェスコ教会の18世紀のアプシス(後陣)の背後の壁から、14世紀のフレスコ画の断片があらわれた。

4世紀に殉教したアレクサンドリア生まれの聖女カテリーナの姿が描かれたこの壁画の断片、作者は一体だれなのか。

最近、サンティッシマ・アンヌンツィアータ教会に隣接する修道院内の一室にダ・ヴィンチの工房とされる一室を発見したフィレンツェのヨーロッパ・ファインアーツ・センター所長のロベルト・マネスカルキは、ジョット説を唱えている。

たしかに、ジョットはこの場所をしばしば訪れていたことはわかっており、フランチェスコ修道会の修道士たちとの親交もあった。今後の研究の進展によりジョット説が裏付けられれば、大きな話題となることはまちがいない。

ドナテッロ『ダヴィデ』、ドック入り

フィレンツェのバルジェッロ美術館の至宝、ドナテッロの『ダヴィデ』が、クリスマスを前に、トスカーナ州の文化財保護局の修復研究所に



移送された。研究所ではX線撮影など、『ダヴィデ』の健康診断を実施、今後の修復のデータを集める予定。

Andrea Mantegna (1431-1506)

自然な、人間性あふれる作風で観る者の心を奪うルネッサンス初期の画家アンドレア・マンテーニャ。没後500周年にあたる2006年から今年1月にかけて、活動拠点となった3都市、パドヴァ、ヴェローナ、マントヴァで展覧会が同時開催されている。貧しかった子どもの頃から、工房で弟子というよりも召使として働いていたが、17歳で早くも独立し、パドヴァ「オヴェターリ礼拝堂」の壁画を描く。マントヴァ公ゴンザーガ家の室内を飾るフレスコ画は、「描かれた建築」として名高い。四角い部屋は、絵の中の柱やカーテンによって凹凸があるかのよう。丸く描かれた天井からは、やはり描かれた空が見える。



《Provate qualche volta ad alzarvi all'alba, a vivere il miracolo quotidiano del risveglio della Natura》

Carlo Azeglio Ciampi

5月に7年間の任期を終えて退任したチャンピ元大統領が若者たちに向けた言葉：

《時には、夜明けに起きて、自然のめざましい日々の奇跡のなかに身をおいてみよう》



スカラ座、23年ぶりの『アイダ』上演



12月18日は、ミラノの守護聖人、聖アンブロージョの祝日。そして、スカラ座のオペラ・シーズンの開幕日でもある。

そのオペラ・シーズンは、ステファン・リスネ新総裁のもと、じつに23年ぶりの『アイダ』公演で幕を開けた。顔ぶれは、アイダ：ヴィオレッタ・ウルマーナ、ラダメス：ロベルト・アラニーヤ、演出：フランコ・ゼフィレリ、指揮：リッカルド・シャイー。

メソプラノ時代にはアムネリス役を歌ったリトアニア出身のウルマーナが、今度はソプラノ歌手としてタイトルロール役に挑戦し、絶賛を浴びた。

また、エクサンプロヴァンス音楽祭の総監督として野心的な企画を次々と成功させてきたリスネと、最もラディショナルな演出で知られる大御所ゼフィレリというコンビも、その意外性で大きな話題を集めた。

ゼフィレリにとっては、スカラ座で1963年に最初に『アイダ』の演出を手がけて以来、ヴェローナ、東京、ブッセートにつづき、今回が5度目の公演となる。「私を使うと高くつくよ。スカラ座も、ほかに頼めば3億円は節約できるのに」と、自信満々のゼフィレリ節は健在だ。

そのゼフィレリがスカラ座にデビューした1953年に生まれたのが、指揮者シャイー。「ゼフィレリからはパパと呼んでくれと言われましたが、さすがにそれはちょっとね」と笑うシャイーは、「マジカルで、壮大な『アイダ』をスカラの舞台の上に描きたい」と抱負を語った。

..... Italia in Giappone



○「レオナルド・ダ・ヴィンチ -天才の実像」

2007年「イタリアの春」の中核催事として東京国立博物館でダ・ヴィンチの名画『受胎告知』が出品される。(3月20日から6月17日まで) www.leonardo2007.jp

○パレルモ・マッシモ劇場日本公演 6月から7月にかけて、『カヴァレリア・ルスティカーナ』、『道化師』、『シチリア島の夕べの祈り』をベストメンバーで上演。お問い合わせ：03-3477-3244



Claudio Cavina

○「優しい金色の光」

「新しいオルフェウス」と評されるカウンターテナー、クラウディオ・カヴィーナと波多野睦美・つのだたかし・リュート・デュオが織りなすバロックの世界。 2月7日 19:00 ハクジュホール お問い合わせ：04-2955-6652

libri



『イタリアの世界遺産』

イタリアとヴァチカン市国の世界遺産を写真と地図で案内するイタリア政府観光局のパンフレット。42の美しい町々、遺跡、風景を紹介。

www.enit.jp

『対話が世界を変える』 聖エジディオ共同体

アンドレア・リッカルディ著 千田和枝 訳 春風社



数々の交渉の場となった S. Egidio 教会の庭

学生運動の盛んだった1968年、自分たちができることは何かとみずから問いかけ、ローマの町はずれでボランティア活動を始めた高校生たちがいた。

以来40年、聖エジディオ共同体として、貧困や病気などさまざまな理由で苦境にある人々と人生を分かち合いながら、友情と連帯の輪を世界に広げている。また、ヨハネ・パウロ二世の提唱で1986年に始められた諸宗教の集い「アッジの祈り」を引き継ぎ、毎年各国で平和のための対話を呼びかけている。

1992年には、交戦中だったモザンビーク政府とゲリラ指導者がローマの聖エジディオ本部で長いあいだ話し合った末、和平協定に調印。対話から生まれた「イタリア式」和平は「奇跡」として世界の注目を集めた。激しさを増していたアルジェリア紛争の際にも、1994年、当事者たちをローマに招き、それが契機となって和解への道が拓けた。

インタビュー形式で語られる本書のなかで、「平和なしの開発協力など悪い冗談」と言い切る聖エジディオ創設者 Andrea Riccardi に答えるかのように、二階宗人氏はあとがきで次のように記している。

「……奴隷制度を廃止した人類です。戦争をなくすことができないと決めこむ必要があるでしょうか」。

Italiano ↔ Giapponese

イタリア語 ↔ 日本語

Traduzione

Interpretariato

各種証明書・契約書
音楽・美術・法律
シター・論文・マニュアル
ファッション・ホーテック・料理

同時・逐次通訳
商談・テクニカル
記者会見・セミナー
インタビュー・カハラ

tel: 03-5296-1930
fax: 03-5296-1940

アド・イタリア株式会社

〒101-0021 東京都千代田区外神田 2-19-14

AD ITALIA Co., Ltd.

2-19-14 Sotokanda, Chiyoda-ku, Tokyo

ad@ad-italia-tokyo.com